

水彩画教室「流星と火星」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

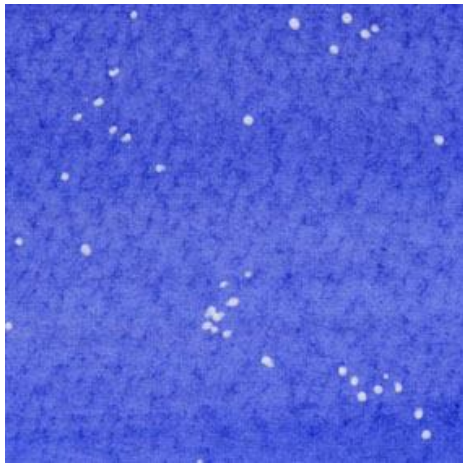
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

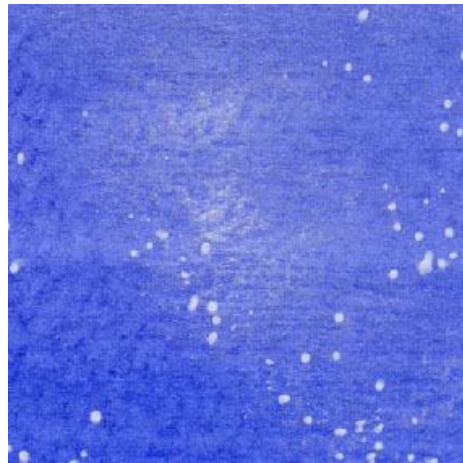
昨夜 高原野菜畑の真ん中で 火星を眺めていました 人工光のほとんどない高原で シーイング(大気の状態による星の見え方)も良かったので 肉眼で天の川まではっきりと見えました そろそろ帰ろうかと思った時 火星の左側を流星が飛びました 流星の飛ぶ高さはせいぜい数百kmですから 光も一瞬前のもの 大接近の火星の光は約4分前のもの 恒星や天の川の光は数年前から数万年前のものです いろいろな時代の光を一度に見て 不思議な気持ちになりました



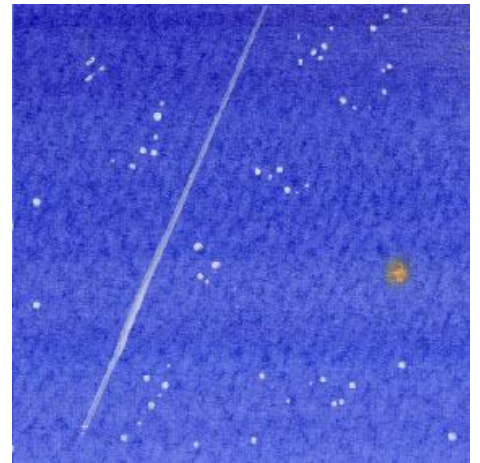
これが完成した絵です



1、恒星は 写真に字を書く 不透明なペンで点描しました 大きさ(明るさ)を変えるのが難しいです



2、天の川は 白のパステルを指先につけてそれを紙の上に伸ばして描きました



3、流星も同じペンで描いています 流星は下方で消える寸前に ひときわ明るく輝きます



4、駒髪山という山の山肌は 自動車のライトが見えました



5、遠くの民家は 灯火とその反映で表現しました



6、高原野菜畑の畝 マルチ(白いビニール)が張ってあるので 白っぽく見えました